

ぐる~ニヤツ!

やまぐち



やまぐちまちなか情報広報誌

中山口市
中心市街地
エリアって
どんなところ?



2013.6



山口市 中心市街地 エリアって どんなん ところ？



「行程記」
萩往還 山口市街地部分(18世紀)
山口県文書館

山口の中心市街地の歴史は古く、室町時代、守護大名の大内氏が拠点を置いたことから、山口のまちは政治、経済、文化の中心地として栄えました。現在も当時の町名・小路名が残っています。また、萩と山陽道を結ぶ萩往還と石州街道が中心市街地で交差したことから、江戸時代には門前町、宿場町としても発展しました。幕末には、維新の志士らが集い、明治維新の重要な舞台になりました。近代以降、商店街を中心たくさんのお店が並び、役所、郵便局、金融機関など、主要な施設が集まつたのです。

現在

比較すると
昔の町割りが
今も残っているのが
分かるニヤ



現在のエリア周辺に集まる機能

歴史・文化

- 一の坂川やパークロードなど
- の自然景観
- 大内文化や明治維新関連の史跡
- 山口七夕ちょうちんまつりなど伝統的祭り

商店・事業所

- 商店街を中心とした商店や飲食店、百貨店、スーパー
- 郵便局、病院、金融機関、テレビ局などの事業所

行政・教育

- 市役所、裁判所、合同庁舎などの行政機関
- 保育園、小中学校、高等学校などの学校機関
- 図書館、美術館、博物館などの教育文化施設

このように中心市街地エリアは、数々の歴史を重ねて構成されたまちで、その変遷を紐解いていくと、現在の姿とつながっていることが伝わってきます。現在、様々な要因によって中心市街地エリアの吸引力が低下し、活性化が必要となっています。なぜ、「」の中心市街地エリアの活性化が必要なのか、この広報誌を通して考えて行きましょう。

「中心市街地の活性化」って何のこと? 2

PROLOGUE



10年後、20年後のあるあなたの暮らしは大丈夫?

山口のまちなかは、長い歴史の中で文化、伝統をはぐくみ、地域経済や社会の発展において重要な役割を果たしてきた「まちの顔」ともいえる場所です。しかし、車社会の進展、郊外大型店の出店、居住人口の減少、商業の魅力低下などで、まちなかの衰退が進みつつあります。

郊外の大型店があるからいいじゃない

車があるから不自由ないよ

今さら、中心市街地の活性化がいるの?

にぎわいのあるまち

暮らしがやすいまち

自然と文化の薫るまち

中心市街地活性化に向けた3つの視点

中心市街地の活性化とは、
将来を見据えたまちづくり

今後の人口減少や少子高齢化社会を踏まえると、歩いて暮らせる範囲内に、商業や業務、文化などの都市機能や生活基盤が集約されていることが求められ、中心市街地の活性化とは、中心市街地を生活拠点として再生する取り組みといえます。これからは、「コンパクトなまちづくり」が必要です。

生活に困つたりしませんか？

かかりつけの病院がなくなっていたら

バスが走っていなかつたら

車を運転できなくなつたら

郊外のスーパーが閉店してしまつたら



歩いて何でも用が足せれば車の運転ができなくても安心だニヤ!

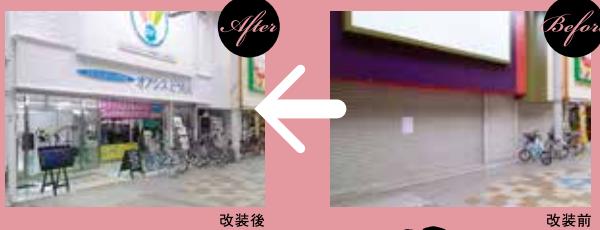


これまで
いろんな取り組みを
やってきたんだニヤ!



教養文化施設・
スーパーを備えた
中心商店街の西の拠点
「どうもんパーク」

飲食を中心
市場を備えた
東のコミュニティ拠点
「マルシェ中市」



【空き店舗率の推移】

13% ← 19%
(平成25年3月) (平成23年4月)



にぎわいの
あるまち

まちの資源を活用し、
周囲と連携しながら
中心商店街のにぎわいを
取り戻します。

集客のための
にぎわい創出
イベント

やまぐちスペインフェスタ

スペインフェスタ

山口みどりのフェスタ
(山口市都市緑化祭)

高校生チャレンジショップ

中 心 市 街 地
取 り 組 ん み 。

PROLOGUE

市民活動の
きっかけづくり・支援
「さぼらんて」



定住人口を増やす
「借上型
市営住宅」



誰もが住んでみたく
なるような安全で
利便性の高い環境を
創出します。

自然と文化の 薰るまち

自然と融合したまちづくりとともに
歴史の継承と新しい文化を創造します。

河川を活かしたまちづくり
一の坂川周辺地区整備事業



マンションなどもできて
居住人口は増えてるニヤ!



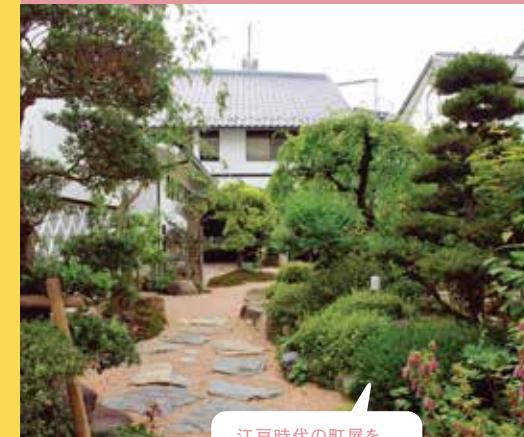
商店街との
回遊性を高めて
憩い空間にも
なるんだニヤ。



子育て中の
親子を支援
「てとてと」



高齢者や
障がい者のサポート
「まちのえき」



江戸時代の町屋を
保存・活用
「和楽の咲都」

【小売業年間商品販売額の推移】
(単位：百万円)



全国的に
不況ということあって
キビシイ状況だニヤ…



【商店街通行量の推移】
(単位：人)



増えたり減ったりしているニヤ。
全体的には横ばいかニヤ?



「にぎわいのあるまち」

をを目指して

まちの資源を活用し、周囲と連携しながら、
中心商店街のにぎわいを取り戻す取り組みを
実施しています。

interview

みんなが参加する
スペインフィエスタ
を目指して



川上直美さん
やまぐち
スペインフィエスタ
実行委員会

まちかどインタビュー①

Q どうすれば、
にぎわいのあるまちになれると思いますか？



スペインフィエスタとは

スペイン・パンプローナ市と山口市が姉妹提携を結んでいることから、スペインをテーマにしたイベントを毎年秋に開催しています。「来て・見て・食べて、スペインを楽しむ」をコンセプトに、その日は商店街が一体となってスペイン色に染まります。目玉は、大鍋パエリアとフラメンコショー。特にフラメンコはクオリティが高く、山口で本格的なショーはなかなかお目にかかるないので必見ですね。

スペインフィエスタへの思い

たくさんの人と一緒に盛り上げたいという思いがあるので、いきたいという思いがあるので、

CP研究会について

第1回のスペインフィエスタ（山口スペインまつり）を企画・運営したのがCP研究会です。商店街の有志で構成されるグループで、「商店街の垣根を越えて楽



大きい鍋だニヤ!!



若い人が集まりそうな
カフェやショップが
増えるとにぎわうのでは。
(清水さん／28歳)



商店街に
「山口ではここにしかない」というお店があればいいと思います。
(ヤスさん／20歳)

しい」とをしよう」というコンセプトで活動しています。今はイベントの規模が大きくなつたので、実行委員会がありますが、CP研究会は実働部隊として活躍し

ています。

今後の展開
商店街でイベントに消極的な店舗も、一緒に盛り上げていきたい

ですね。そして、たくさん的人が参加できるようなものにして、みんなで作り上げるイベントにしたいと思います。

interview

学生と連携したイベントで商店街にぎわいを



株式会社
街づくり山口
宮野 孝夫 さん

学生と連携したイベント

「何かやりたい！」と意欲を持つているのに、「どうすればそれを実現できるか分からない」と思っている学生は意外と多いようです。

以前、商店街で行うイベントに携わった時に、学生に協力してもらつたのがきっかけでそのことを知りました。平成24年秋から、学生と連携したイベントを積極的に展開するようになり、やる気のある学生たちに機会と場所を提供してイベント運営をサポートしています。

学生と連携したイベントの中でも、一番印象に残つているのは、2月のアカペラコンサートですね。山口大学のアカペラサークルが主体となつて、九州や中国地方の大学のサークルに連絡をとつて、プロとの出没交渉もこなして、かなり意欲的に動いてくれました。まだまだいろいろな場所でやり

たいと言つてくれるので、これらも協力していきたいですね。

イベントによる効果

山口市には1万人の学生が住んでいても、そのうち4%、つまり400人しか商店街で買い物をしたことがないというデータがあります。マーケットがあるので、それを取り込めていないのです。アカペラコンサートを開催した時、200人の学生が来てくれば、ほんとどが初めて商店街に来たと言つていました。イベン

トをきっかけに、「」の中から少しでも「これから商店街に通いたい」と思つてくれたらいいですね。

今後の展開

商店街で買い物以外の娯楽の選択肢を増やしていきます。例えば、発表の場を増やしたり、ネット連動で参加者が楽しむ企画を実行したり、参加する側も主催する側も両方が面白いと思える仕組みが必要ではないかと思います。



大盛況だったニヤ～

アカペラ
コンサート

レッツフライ
アパウト
商店街

チラシ



学生協力の
子ども向けイベント
「レッツフライアパウト商店街」
も開催したニヤ!



高齢者が
気軽に入れる場所が
もっとたくさんあると
いいですね。
(徳枝さん／88歳)

仕事帰りに
立ち寄れるように、
遅くまで開いているお店が
増えたらいいですね。
(水津さん／72歳)



カフェや洋服屋が
増えて、商店街全体が
ショッピングモール
みたいになるといいかも。
(せいちゃん／31歳)

子どもと一緒に
楽しめるイベントが
あればいいな。
(さやかさん／29歳)



「暮らしやすいまち」

を目指して

子どもからお年寄りまで、誰もが安心して過ごせるまちを目指して様々な取り組みが行われています。

interview

子育て中の お母さんが 集う交流スペース



久保田 美代さん
ほっとさろん西門前
「てとてと」

「てとてと」について

0～3歳児を抱えるお母さんと子どもが集まる子育て交流スペースが「てとてと」です。お母さん同士、子ども同士がお友達を作ったり、絵本やおもちゃで遊んだり、いろんな目的を持つています。初めて来る人は入りづらいと思うので、週1回ペースでミニプログラムを行っています。0歳の赤ちゃんを対象とした「ころびよあちゃんの会」、妊婦さんを対象とした「わくわくマタニティの会」など、私が行く日だなど分かるように対象者を明確にしてとてとで一緒に探そう!といいます。

一時保育を通して

う目的を掲げていますが、「ここに来る」とことで、いろんな子育てを知ることができます。子どもを産むと大変だと思う方は多いと思いますが、他の人の子育てを知って、楽しい部分を再認識して、こんなふうに育てられるならもう一人産んでみようかなと前向きに思つてもらえるといいですね。

「あなたたらしく楽しい子育てをしてとてとで一緒に探そう!」といいます。

一時保育を通して
一時保育を目的に来る方もいらっしゃいます。「預ける間に買い物や美容院に行けるので、商店街にあると便利」という声を聞きますね。利用は、育児疲れの解消など私的な理由でも構いません。私の理由は悪いことだと感じている方もいるようですが、



ほっとさろん西門前「てとてと」

【所在地】西門前商店街
【開館時間】10:00～15:00
【開館日】土曜・日曜(第3日曜は開館)・
第3木曜・お盆・年末年始

平成15年7月にオープン。NPO法人あつとが山口市の委託を受けて運営している。



一時保育「あずけちゃお」

【対象】0歳児～未就園児とその家族
【日時】火曜・金曜 10:00～13:00(てとてと開館中)
【料金】600円/1時間(要予約)
(最短1時間～最長3時間、30分単位)



自転車とそれ違って危ないことがあるので、歩行者用と自転車用の道があるといいかも。

(麻由さん／33歳)



スーパーのような店がもう少し増えると暮らしやすいのでは。
(ぐりさん／20歳)

まちかどインタビュー②

Q 暮らしやすいまちになるには、何が必要だと思いますか?



そうではありません。一時保育は贅沢なことではないと、みなさんに伝えたいですね。

商店街の方とのつながり

商店街の行事には可能な限り参

加するようにしてます。隣近所に私たちの活動を理解してもらつてることができますし、交流があると何か困ったことがあつたら助けを求めることもできます。その道のプロばかりなので、美容師

による前髪切り方講座や、呉服店に浴衣の着付けをしてもらつたこともあります。いろいろな人たちと関わりができるのが、商店街の特徴ですね。

interview

高齢者が いろいろな人と 交流できるサロン



ほっとサロン中市
「まちのえき」
神本直樹さん
かみ もと なお き

「まちのえき」について

増えていて、平均すると一日に約60人がいらっしゃいます。

利用者の声

一人暮らしの方が、「家にずっといる」と気が滅入るので、「ここ」に来ていろいろな人と話がしたい」と来られることが多いですね。商店街で買い物をするついで、というよりも、「まちのえき」を目指して来られます。このサロンが街に出てくるきっかけになっているのでしょうか。

「まちのえき」に集まる人たちが、これからもずっと来てくれて、つながりを持ち続けられたらいいなと思います。毎日来ることで介護予防にもなりますし、結果として商店街への来街者が増

いかと思います。そのため、毎日来たくなるような工夫を心がけていきたいと思います。



ほっとサロン中市「まちのえき」
【所在地】中市商店街【開館時間】10:00~16:00
【休館日】水曜・土曜(第2土曜は開館)・お盆・年末年始
平成15年4月にオープン。NPO法人せわやきネットワークが山口市の委託を受けて運営している。

定期的にフリーマーケットや歌体操、脳活、タイムなどのイベントも行っています。毎月第2土曜日のフリーマーケットは、開館前から行列ができる人気のイベントになっていますよ。

訪れる人は60歳以上の方が約7割となっています。利用者は年々

いろいろな人が来て気軽に交流できる場所が「まちのえき」です。利用者同士が知り合ってコミュニケーションを深める「交流サロン」、看護師や保健師が健康相談を受けたり、健診チェックをする「まちの保健室」、大学生ボランティアによる買い物の介助や、車椅子・シルバーカーの貸出をする「タウンモビリティ」の3つの機能があります。お茶を飲んでひと休みしたり、誰かと会話を楽しんだり、保健室で血圧を測ったり、みなさんここに来て自由に過ごされていきます。

今後の目標

「まちのえき」に集まる人たちが、これからもずっと来てくれて、つながりを持ち続けられたらいいなと思います。毎日来ることで介護予防にもなりますし、結果として商店街への来街者が増えて活性化につながるのではないかと願っています。



いろいろな商品が
買えるように
お店の種類が増えると
暮らしやすくなります。
(享子さん／82歳)

いろいろな人が来て気軽に交流できる場所が「まちのえき」です。利用者同士が知り合ってコミュニケーションを深める「交流サロン」、看護師や保健師が健康相談を受けたり、健診チェックをする「まちの保健室」、大学生ボランティアによる買い物の介助や、車椅子・シルバー

カーの貸出をする「タウンモビリティ」の3つの機能があります。お茶を飲んでひと休みしたり、誰かと会話を楽しんだり、保健室で血圧を測ったり、みなさんここに来て自由に過ごされていきます。

「まちのえき」に集まる人たちが、これからもずっと来てくれて、つながりを持ち続けられたらいいなと思います。毎日来ることで介護予防にもなりますし、結果として商店街への来街者が増えて活性化につながるのではないかと願っています。



人が集う
コミュニティ施設があることを、
もっとたくさんの人間に
認知してもらうことが必要。
(トシ子さん／58歳)



ちょっとの時間でも
気軽に停められる
駐車場があるといいですね。
(優子さん／37歳)



夜が暗いので、
街灯を増やしたり
閉店時間を
遅くしたりして、
街を明るくするといいのでは。
(松原さん／35歳)



「自然と文化の薫るまち」 を目指して

自然と融合したまちづくりに取り組むとともに、歴史の継承と新しい文化を感じられるような個性的なまちづくりを目指します。

interview

自然と文化あふれる 「の坂川を 次の世代に



の坂川
周辺地区ブロック
協議会
中野 雅恵 さん

協議会について

「の坂川の再生とその周辺のまちづくりを進めるために、「の坂川周辺地区ブロック協議会」(以下、協議会)を立ち上げたのが平成15年のことです。当時作成した「まちづくり構想」を元にした、「の坂川周辺地区の整備が現在行われています。

工事に入ったのは平成20年からで、護岸工事や河川再生、道路の整備、電線類地中化管路の設置が進み、現在は御局橋から千歳橋までの区間に着手している状況です。2年後に工事が完成する予定です。

積極的な情報発信

協議会では、年3～4回ほど会報を発行していて、現在35号になりました。ここまで詳しく情報発信する協議会は珍しいのではないかでしょうか。常に私たちの活動を対外的に発信することで、みなさんが「一緒にまちを活性化しよう」という意識になってくれると嬉しいですね。

「の坂川再生への想い

ギャラリー・ナカノがあるこの場所で私は生まれ育ち、76年間ずっと川の姿を見つめできました。子どもの頃は、春には桜、初夏にはホタルが舞う風情がこの川もありました。

毎年台風の大水でこの辺りが浸水していたことから、昭和45年頃に治水工事をした結果、景観を考えずに放水的な工事をしたので三面コンクリート張りの風情のない川になってしまいまし。ここから上流には、その後ホタル護岸工法で治水工事がされたので、桜もホタルも舞う自然豊かな美観地区になっています。

同じ「の坂川」なのに、上流は観光客でにぎわい、私たちの地域はあまり人が歩いていない状況があります。なんとか昔のような自然がある環境を取り戻したいと願いで「の坂川再生」ため活動を継続しております。工事はあと2年で完成しても、桜やホタルを見ることができるようになります。

まちかどインタビュー③

Q 自然と文化をPRするアイデアをください!

若い人が参加できるPRイベントを開催するといいと思います。
(めいさん／20歳)



歴史スポットを巡るウォーキングをしてはどうでしょうか。
(かねごんさん／30歳)



若い人が参加できるPRイベントを開催するといいと思います。
(めいさん／20歳)

なるには、まだまだ時間がかかるでしょう。

山口の歴史を伝える活動

地域の歴史と文化を教えていく活動にも力を注いでいます。戸時代後期まで、米屋町に笠着堂（かさぎどう）という連歌所がありました。祇園祭では、祭り期間の7夜で700句作ったものを御神輿にかけて、最終日に八坂神社とお殿様に奉納、献上していましたという記録があります。地域の中にこんな素晴らしい歴史があることを知り、アートかる山口では笠着堂を顕彰する展示やイベントを毎年行っています。



親子の生物観察会



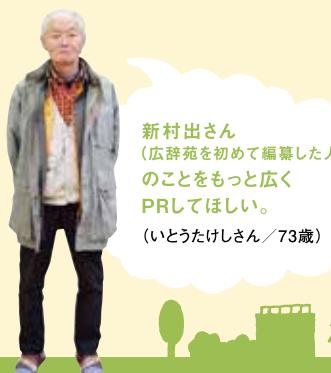
ト、7月には夏祭り、8月には親子の生物観察会、春と秋に川掃除など、地域住民と交流するイベントも定期的に開催しています。川掃除は終戦後から行われている町内会の行事に、協議会を立ち上げてからはいろいろな方々が率先して参加するようになりました。現在はマンションの方も参加しておられます。

6月・12月にはキャンドルナイト

私たちも利益や利便性だけではなく、川の自然を再生し、地域

今後の展開

会やフリーマーケットもやりたいですね。地域の交流スペースとして、みんなが使える多目的な場所になればと思います。



日本のクリスマス
発祥のことなど、
モニュメントや
説明板でアピールしては。
(菅沼淳さん／42歳)



の景観や歴史と文化を伝えることで、次の世代に何か残したいと地域の環境を語り部として教えたいですね。

山口市中心市街地への 出店ストーリー



和菜遊彩 叶 (かな)

代表 大工 広道さん

平成23年7月に発生した中市商店街の火災後、同10月に新町商店街に移転。
再オープンした飲食店「叶」。
オーナーの大工さんに、再オープンまでの経緯についてお話を伺いました。

再オープンまでの経緯は?

大阪から地元山口市に戻り、中市町の御局小路に店をオープンしてから、まだ半年しか経っていない時、火災だったので、すぐに再開するのか、他店で働いて資金を貯めるのか、かなり迷いました。ただ、一度自分の店を出したので他の店で働くのは考えられなかったのと、「なんとかなるだろ」と漠然ですが前向きに考えるようになり、店舗を探し始めた頃、空き店舗対策の話を聞きました。天井も高く、建物もしつかりしていて、道路に面

して人目につきやすい。現在の物件に「目惚れでした」「ぜひやりたい」と思ったのですが、家賃が高かったので、サポートセンターに家賃交渉してもらい、なんとか話がまとまりました。

なぜ中心商店街で再開しようと思ったのですか?

お客様や友人から励ましの言葉



和菜遊彩 叶 飲食業

[開店日] 平成23年10月

[所在地] 新町商店街

昼はランチ客でにぎわい、夜は食事とお酒を愉しめる。

今後の目標は?

をかけてもらったので、できれば近くで再開したいという想いもありました。

今後の目標は?

まずは、誰もが名前だけでも知っているような、みなさんに認知させて、やつぱり自分のスタイルだと、中心商店街の方が合っている



カフェ ぶらり

飲食業

[開店日] 平成24年7月
[所在地] 米屋町商店街



赤黒亭

飲食業

[開店日] 平成24年6月
[所在地] 新町商店街



もなの珈琲

飲食業

[開店日] 平成24年5月
[所在地] 新町商店街



ワイムクリエイト

建築事務所

[開店日] 平成24年4月
[所在地] 駅通り商店街

「山口街中
サポートセンター」で
商店街での開業を
サポートしているニヤ。

(17ページ参照)



New
**SHOP
INFOMATION**

平成24年度に
山口市中心商店街へ出店した
店舗を見てみましょう。
空き店舗が減り、
中心市街地エリアの活性化に
つながっています。



アウリンコ

代表 下瀬 美和 さん

平成24年7月に「アウリンコ」「エクラモーネ」、そして平成25年1月に「アウリンコ☆」「アウリンコ・カフェ」と道場門前商店街に半年で4店舗の開店に踏み切った下瀬美和さんにお話を伺いました。

出店のきっかけは?

防府でカフェを約6年経営しているのですが、平成23年のスペインフィエスタにカフェとして参加した時に「中心商店街へ出店したらどうか」と話をいただいたのがきっかけです。かなり悩んだのですが、自分の力を試したいと思って出店に向けて動き始めました。

最初の2店舗を現在の場所に出店した決め手は?

今度のアウリンコの物件が気に入つたからです。最初は物販だけと思っていたのですが、2階が空き店舗で1階だけ営業するのは面白くないので、2階は飲食を行なう友人の荒瀬さん(エクラモーネ代表)に声をかけて1階を物販、

2階を飲食することにしました。防府のカフェでつながりのあった方々にスタッフとして協力してもらい、なんとか2店舗同時オープンにこぎつけました。

さらに2店舗オープンしたのは?

次第にアウリンコが手狭になってしまったのと、向かいが空き店舗で寂しかったので、物販をもう1店舗増やすことにしました。同じタイミングで、地下にあった「さゝ波」という食事処が閉めることになり、雰囲気がとてもステキだったので、別の方が地下を借りるより1階と地下で連携したいと思ったので両方借りることにしました。

シャッター街はイメージが良くなないので、できるだけシャッターを開けて、道場門前商店街をもっと魅了的な通りにしたかったんです。

防府のカフェは郊外にあるので、わざわざ足を運んでもらうお店です。それに対して、商店街は人通りが多くて、土日は集客が見込めます。その中でいかに興味を持つてもらうかは、私たちの努力次第ですね。

中心商店街に出店するメリットは?



アウリンコ
インテリアショップ

[開店日] 平成24年7月
洋服、雑貨など個性的なアイテムを揃えるショップ。



エ克拉モーネ
飲食業

[開店日] 平成24年7月
結婚式の二次会やパーティーも可能な広々空間のカフェ。
(代表: 荒瀬康宏)



アウリンコ☆
婦人服・雑貨

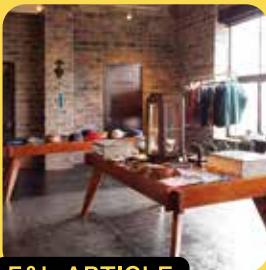
[開店日] 平成25年1月
エレガントな洋服、雑貨を揃える。大きめサイズ有り。



アウリンコ・カフェ
飲食業

[開店日] 平成25年1月
アットホームでこぢんまりとした地下のカフェ。

*所在地／道場門前商店街(4店舗とも)



F&L ARTICLE

紳士服



Addict

紳士服



西京アコースティック
飲食業



オアシスどうもん
サービス

サービス



心味
飲食業

飲食業

[開店日] 平成24年9月
[所在地] 新町商店街

[開店日] 平成24年8月
[所在地] 駅通り商店街

[開店日] 平成24年8月
[所在地] 本町商店街

[開店日] 平成24年8月
[所在地] 道場門前商店街

[開店日] 平成24年8月
[所在地] 駅通り商店街

ガーリーマーケット

代表 菅 佳恵 さん



店舗展開の経緯を
教えてください。

昭和60年、現在アリスリデルがある建物の地下に喫茶店を出したのが、私のスタートです。

「自分で何かやってみたい」「商店街の中に都会の香りのするもの」という思いでしたね。ちょうど今の若い人が出店するのと同じような気持ちだと思いま

す。

最近の動きは?

喫茶店をやっていると、そこで使っていた食器に興味を持つお客様が多かったので、「じゃあ雑貨店をやってみようか」と昭和63年に新町商店街にセレクト系の雑貨店を出しました。その後、郊外に大型ショッピングセンターができ、雑貨が買える場所が増えてきたので、「服飾もやってみ

よう」と思い立ち、平成13年、ガーリーマーケットの原点となる米屋町の建物を購入したこと、その時に2店舗あった洋服店と一緒にまとめて、平成15年に現在のガーリーマーケットが誕生しました。店舗展開というより、時代の流れやお客様のニーズに合わせて、商品やターゲット、場所を変えていつただけなんですね(笑)

商店街に対する思いは?

中心商店街の近辺で生まれ育つたので、愛着がすごくあります。昔のように、いろいろな方々に来ていただける商店街になつたらいいと思いますね。

【所在地】米屋町商店街
かわいい系トレンドアイテムが中心。

30年近く、中心商店街でカフェ、雑貨店、洋服店と様々なショップを経営してきた菅佳恵さん。時代の変化やニーズに合わせて、業態を変えながら店舗展開してきた菅さんにその経緯や思いを伺いました。

よう」と思い立ち、平成13年、ガーリーマーケットの原点となる米屋町の建物を購入したこと、その時に2店舗あった洋服店と一緒にまとめて、平成15年に現

きます。ガーリーマーケットでは、お客様が求める商品に対応できるよう、カジュアルもきれいめも、安いものから高いものまで、どんどん幅が広がっていったんですね。ガーリーマーケットは「手頃な価格でかわいいティストの商品」、GMサリーは「ある程度落ち着いたティストの商品」として差別化しました。



GIRLY MARKET
(ガーリーマーケット)

婦人服

[所在地] 米屋町商店街
かわいい系トレンドアイテムが中心。



G.M Sally
(GMサリー)

婦人服

[所在地] 米屋町商店街
落ち着いたかわいいテイストが中心。



Alice lidell
(アリスリデル)

雑貨

[所在地] 駅通り商店街
ナチュラル系の雑貨を揃える。



SOLA (ソラ)

雑貨

[所在地] 米屋町商店街
ボンビでかわいい雑貨を揃える。

菅さんの娘・梨紗さんもSOLAの店長としてがんばっています!



F·O·B STORE MIX

婦人服



カフェ ラ・フランチェスカ

飲食業



ひとさら

飲食業



レノファ山口

事務所



ガーナキッチン バオバブ

飲食業

[開店日] 平成25年2月

[所在地] 道場門前商店街

[開店日] 平成24年12月

[所在地] 駅通り商店街

[開店日] 平成24年12月

[所在地] 駅通り商店街

[開店日] 平成24年12月

[所在地] 道場門前商店街

[開店日] 平成24年11月

[所在地] 駅通り商店街



グループ活動 ①

まちに
人を招く



〔山口街中サポートTEAM（山口街中HP委員会）〕

山口市の商店街情報発信サイトである「山口街中」をより魅力的なHPにすることを目的とし、平成24年5月に結成しました。商店街有志のメンバーが中心となり、「山口街中」を通じて、商店街を盛り上げていこうとする熱くて愉快なチームです。

山口街中サポートTEAMは、定期的にHP、SNS等の活用法について勉強しながら、「山口街中」をより魅力的なHPにするための議論を重ねています。持ち前のチームワークで、商店街有志のメンバーがHPの運営に深く関わることで、お店やイベント情報等を積極的に発信し、メンバーが自信を持って人に勧められる日本一の商店街HPを作り上げていきます。メンバーが運営する「山口街中」はこれら。

<http://www.yamaguchi-machinaka.com/>

山口街中 検索

「山口街中」では200店舗以上の情報を掲載しています。
他にも商店街イベント等の情報も満載!

山口街中公式Facebookページ運営中!
街の裏側を覗いてみよう!



〔山口街中サポートセンター〕

商店街を舞台に新しいお店を出したい方や面白いイベントをしたい方などをサポートするために、空き店舗の紹介やイベント運営のお手伝いなどを行っています。
ウェブサイト <http://yamaguchi-support.jp/>

おもしろイベント・企画大募集

まちなかサポートセンターでは、中心商店街での各種イベント実施の企画・運営を行っています。中心商店街内でイベント実施のご希望のある方はご相談ください。日時、場所等イベント企画に合ったサポートをさせていただきます。

【イベントプロデュース】

〒753-0047
山口市道場門前1-1-18(どうもんパークビル2F)
TEL 083-902-3386
machi-yama@cosmos.ocn.ne.jp
(担当)宮野

開業サポート

商店街におけるテナントミックス計画を考慮しながら、必要な業績を見極め、適切な空き店舗を紹介しています。また、商店街内における出店者に対し、事業計画の立案や有利な補助制度の活用まで、開業支援をトータルにサポートしています。

【開業サポート】

〒753-0086
山口市中市町1-10(山口商工会議所内)
TEL 083-925-2300
arita@tempo.ocn.ne.jp
(担当)有田

[サークル・セブン]

サークル・セブンは、各商店街間の連携を強化し、商店街活性化を目的に活動を行う山口市中心商店街の若手経営者等で構成される団体です。

「山口市中心部の7つの商店街が輪(和)になって」という意味と、設立年が2007年(平成19年)であることから「サークル・セブン」という名称となりました。

サークル・セブンは、商店街実動部隊として地域の学生と連携し、中心市街地での各種イベントの企画・実施、商店街清掃活動、研修会などを行っています。メンバーが主体となって行っている主なイベントは、ハロウィン仮装パレード、職場体験、フォトコレ、ちよるコン(街コン)などです。

市民の方に商店街での楽しい思い出をたくさん作ってもらい、商店街に愛着を持っていただけるようになると市民参加型のイベントを多数企画・実施しております。サークル・セブンメンバーが発信しているブログも是非ご覧ください!



グループ活動 ②

まちを 盛り上げる

[地域活動お助けターミナルメディエーター]

地域活動お助けターミナルメディエーターは、通称「メディエーター」と呼ばれ、山口大学、山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学の学生合同ボランティアサークルで、「地域と大学生をつなぐ」ということを目的に活動しています。

メディエーターは、中心商店街でのイベントや市内のイベント等で運営スタッフとしてサポートをしたり、時には当日のボランティアだけでなく、企画から携わったりと、小学生や地域の方々と交流を図っています。お手伝いをさせてもらっている主なイベントは商店街では職場体験やハロウィン仮装パレード、スペインフィエスタ、他にも青空天国やアートふる山口など多くのイベントに参加させてもらっています。これら活動を通して自分たちが楽しむことはもちろん、活動が地域の活性化に少しでも貢献していくべきと考えています。



山口市中心市街地の祭事

さいじ



山口市を代表する
三大祭りは、
中心市街地エリアで
行われてるニヤ!



山口七夕 ちようちんまつり

場所

8月6日・7日

開催日

山口市中央商店街・パークロード・他

場所

約600年前に26代大内盛見が父母の冥福を祈り、7日盆の夜に笹竹の上に灯ろうを灯したのを起源とし、やがて盆行事として広がったといわれています。

現在は灯ろうから紅ちようちんに変わり、中心市街地エリアを紅ちようちんが埋め尽くす、山口の夏の風物詩となりました。数多くの竹竿につけた数万個の紅ちようちん「つひとつにろうそく」の火を灯し、商店街帯は光のトンネルとなり、幻想的な光景を創り出します。



山口祇園祭

開催日

7月20日～27日

場所

八坂神社、豊小路、山口市中央商店街

菅原道真を祀る古熊神社の例祭で、約390年の歴史があります。ご神体を乗せた御網代車を中心とした御神幸行列と参勤交代を再現した備立行列が古熊神社から中心商店街で行われ、古くからの祭事を今まで忠実に伝えています。



山口天神祭

開催日

11月23日

場所

古熊神社、山口市中央商店街

菅原道真を祀る古熊神社の例祭で、約390年の歴史があります。ご神体を乗せた御網代車を中心とした御神幸行列と参勤交代を再現した備立行列が古熊神社から中心商店街で行われ、古くからの祭事を今まで忠実に伝えています。



日本のクリスマスは 山口から

開催日

12月

場所

市内各所

フランスコ・サビエルが日本で初めてミサを行ったのがこの山口の地であることから、日本のクリスマス発祥の地としてイベントを盛り上げます。

歴史に
まつわる祭りは
たくさん
あるニヤ!

もりさま祭り

開催日

9月1日

場所

長寿寺

もりさまは、かつて荒高町にあった荒高神社の通称で、福部童子にまつわる祠を建てたのがおこりと伝えられています。祭りでは今八幡宮から御旅所まで御神幸をお連れします。

えびす祭り

開催日

11月下旬

場所

中市商店街、

江戸時代、中市町・道場門前、西門前の各商店街にえびす社があり、えびす祭りが定期的に開催されていました。えびす祭りは現在も行われており、3つの商店街が様々なイベントを開催しています。

福部童子祭

開催日

8月26日

場所

今市町

太宰府へ向かう途中、山口で病に倒れた菅原道真の子・菅原福部(福部童子)を偲ぶ祭り。

焚き火をして尻をあぶると病気をしないという「尻あぶり神事」が行われます。

山口市中心市街地活性化に向けて

「なぜそんなに活性化が必要なの?」

みなさん同じ疑問を持たれると思います。山口市民歴10年、私も全く同じ疑問を持つていました。「都市経営コストの増大」と聞いて、すぐにピンと来る方は素晴らしい。私はさっぱりわかりませんでした。でも、編集に携わったから、こんな事を知りました。

街の郊外化が進むと、中心地から徐々に人がいなくなります。すると、今まで中心地にあった企業や行政サービスも、だんだんと中心地から遠のきます。企業がなくなれば、働く場所がなくなり、人が減って、今までできていたはずのお祭りの運営も難しくなるし、街の元気はなくなる。人もいない、お店もないとなると、街の魅力もなくなり、地価も当然下がります。「ここまで聞くと、「お店が郊外にあればいいんじゃない?」と思いませんか?」

違うんですって。人が暮らす場所がどんどん広がると、例えば下水道整備だって、かなり広範囲まで拡げなくてはならない。結局は、税金が沢山必要!「都市経営コストの増大」となるわけです。でも、地価も下落、お店も会社もなくなり、人がいなくな

るわけだから、税金の収入は大幅ダ

ウン…。悪循環、負のスパイラルに入ります。

私は50年後も、山口市で暮らしてみたいと思っています。50年後の私は、もう車の運転ができないかも…。そうなったとき、遠くまで買い物に行くのはとても大変。歩いて色々と買物と用事が済ませられれば、それが一番便利だし、健康的だと思います。

まちなかに魅力があふれていれば、中心市街地に住みたい・住み続けたいと思う人も増えるでしょう。中心市街地が、今よりもっと元気で、もっと便利になれば、やってくる人も暮らす人も増え、お店も増える。収支がアップして、もしかするとサービスも向上するかも知れない!

みなさんにも、この事実を知つて欲しい!そして、ぜひ活性化にお力添えをいただきたい!だから今、みんなの声で、山口の中心市街地をもっとアツい場所にしていきましょう。

私はなんの知識もありません。でも、知識なんかなくても平気です。「元気なまちであつてほしい!」という思いが一番大切なだと実感できた、良い経験になりました。

(編集委員 ハル)

意見を聞かせてニヤ!



山口市中心市街地エリアについて、「どうすればにぎわいのあるまちになるか?」「暮らしやすいまちになるには何が必要か?」「自然と文化のあるまちをPRするにはどうしたらいいか?」など、みなさんの意見を山口市中心市街地活性化協議会までお寄せください。

[発行元]

山口市中心市街地活性化協議会
〒753-0086 山口県山口市中市町1-10
(山口商工会議所内)

TEL : 083-925-2300

FAX : 083-921-1555

E-mail : yc@yamacci.or.jp

[編集・デザイン・印刷] 株式会社マルニ



「山口みどりのフェスタ」の様子

New
SPOT

「みんなの園」 が誕生!!

ニュースポット

中市商店街に平成24年10月、緑化空間「みんなの園」が誕生しました。平成23年7月に発生した火災で消失した中市番地(約300坪)に芝生広場やステージを設け、再建までの期間限定で公園やイベントスペースとして活用されます。

平成24年9月「芝生はりステージづくり」市民の手で芝生はりやウッドステージ作りを手掛け、「みんなの園」を作りました。

平成24年10月「山口みどりのフェスタ」完成した「みんなの園」がお披露目されました。